

「子育て同盟サミット in ながの」開催結果 【概要】

1 目的

子育て支援に積極的に取り組んでいる10県により、平成25年度に設立された「子育て同盟」が全国の子育て支援に携わる方々と、少子化対策、子育て支援施策等の情報を共有し、共同事業や国への提言を検討するとともに、同盟の少子化対策に対する積極的な姿勢と具体的な取組みを全国に発信する。

[構成県]

宮城県、長野県、三重県、鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、高知県、佐賀県、宮崎県の10県

※「子育て同盟サミット in ながの」において、山口県が新たに加盟

2 開催概要

(1) 期 日

平成26年5月30日(金)～5月31日(土)

(2) 開催地

長野県松本市等

(3) 会 場

①視 察 [県立こども病院]

②交流会 [アルモニー・ピアン]

③会 議 [まつもと市民芸術館 小ホール]

(4) 日程等

期 日	プログラム	時 間	内 容	
5/30(金)	視察	15:30～16:50	県立こども病院視察 ※長野、三重、広島、徳島、山口県が参加	
	交流会 [アルモニー・ピアン]	18:00～19:30	全国自治体の子育て支援・少子化対策関係者による交流会 [全体参加者：73名] ※長野、三重、鳥取、岡山、広島、徳島、山口県、佐賀県が参加	
5/31(土)	第1部	9:00～9:50	歓迎イベント [SK松本ジュニア合唱団]	
			共同イニシアティブ事業 報告・提案	
			「子育て応援企業」表彰・事例発表 [最優秀子育て応援企業；シナノケンシ株]	
	会議 [松本市民芸術館 小ホール]	第2部	首脳会議 [議長：長野県知事 阿部 守一]	
			10:00～12:15	来賓挨拶 女性活力・子育て支援担当大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策) 森 まさこ氏ー予定ー
				講演「10人育児中！ー助産師と母親の立場から見た出産、子育てー」 小林 寿子氏(助産院「ばぶばぶ」院長)
				各県知事、来賓、講師による子育て議論
12:15～12:20	「ながの子育て声明・国への提言」発表			
12:20～12:30	記者会見			
[全体参加者：170名]				

3 その他

第2部の会議の様子は以下のサイトで視聴可能

<https://www.youtube.com/channel/UCi0xpNyT5kag36-sg0TKS5g/feed>

子育て応援企業表彰

最優秀子育て応援企業賞

- シナノケンシ株式会社（長野県）

【表彰の趣旨】

ワークライフバランスの実現のため、社内環境の整備を進めるとともに、地域と協同して子育て支援専用ホームページを開設し、父親向け子育て支援講座を継続的に実施しているなど、子育て支援の取組を積極的にこなっている。

優秀子育て応援企業賞

- 株式会社サタケ（広島県）

【表彰の趣旨】

子育て支援のため、社内の施設を利用した社内保育室を設置するとともに、子供に対する家族手当での充実を推進している。また、男性社員の育児休暇取得の推進等をおこなっている。

- 万協製薬株式会社（三重県）

【表彰の趣旨】

子育て中の従業員同士のネットワーク強化のため、「万協母の会」を発足させるとともに、従業員のやりがいを重視した休暇等の充実のため育児短時間勤務制度を設ける等の取組を行っている。

子育て応援企業賞

- 仙建工業株式会社（宮城県）
- 株式会社みたご土建（鳥取県）
- 菅公学生服株式会社（岡山県）
- 西精工株式会社（徳島県）
- 株式会社高知銀行（高知県）
- 株式会社ミズ（佐賀県）
- 医療法人和敬会（宮崎県）
- 株式会社西京銀行（山口県）

最優秀子育て応援企業賞

1 企業等の概要

企業等の名称	シナノケンシ株式会社
代表者 職・氏名	代表取締役社長 金子元昭
従業員数	計 850 人 (男性 700 人、女性 150 人)
育児休業取得者数	計 8 人 (男性 1 人、女性 7 人 (100%)) H25 年度 過去 6 年間育児休業の取得率は 100% 過去 21 年間で男性 3 人、女性 229 人が取得

2 企業等の取組状況

項 目	取 組 状 況
子育て支援に係る主な取組項目	<p>○ワークライフバランス実現のための社内環境の整備</p> <p>○ワークライフバランス実現を経営トップの方針として明示 ・社長自らワークライフバランスの必要性を説き、年 4 回開催される管理職研修で徹底。 ・週 2 回の定時退社日を設けて、労働時間の短縮化を図るとともに、毎月労使による「ワークライフバランス推進委員会」を開催し、月間の残業が 45 時間以上の社員の仕事内容を分析してその労使で対策を考えるなど残業時間の適正化を推進。 社内環境の整備の結果として、充実した子育て支援制度を活用できる雰囲気が社内にある。</p>
	<p>○法を上回る育児休業制度、時間短縮勤務制度</p> <p>1992 年 4 月に制定。育児休業期間を子が 3 歳の 4 月末まで、時間短縮勤務制度と時差出勤は小学校就学後の 4 月末まで取得可能。これにより、女性社員に止まらず男性社員も子どもの送り迎え等が気軽に出来るようになり、育児に参加することで家庭生活が充実し、仕事へもプラスの影響がでている。 利用実績： ・育児休業制度 過去 6 年間対象女性職員者 100%取得 過去 21 年間で男性 3 人、女性 229 人が取得 ・時間短縮勤務制度 過去 13 年間で男性 3 人、女性 133 人が取得 ・時差出勤 過去 8 年間で男性 33 人、女性 3 人が利用</p>
	<p>○在宅型モバイル勤務制度</p> <p>2007 年 3 月に導入。育児中の開発スタッフが自宅でネットを介してプロジェクトに従事。育児休業中の従業員が自宅で仕事することで、自分のペースで仕事と育児を行うことが可能となった。 利用実績：3 名 (技術職 2 名、事務 1 名)</p>
	<p>○人事評価制度</p> <p>男性も女性も育児休業や時短勤務の取得者が、昇格等の評価に不利にならないよう人事考課上の加点調整を行なう等人事制度面でも支援。</p>
	<p>○円滑な職場復帰支援の取り組み</p> <p>育児休業者の円滑な職場復帰を可能にするため、育児休業復帰講習、通信教育、手続きガイドの作成・配付・定期的な会社情報の配信や家庭訪問等の取り組みを行っています。これにより、<u>2009 年以降女性従業員の育児休業の取得と復帰は 100%</u>となっている。</p>

<p>○子育て支援の専用ホームページの開設</p>	<p>NPO法人と協同し、子育てに関する情報、意見交換を行う専用のホームページ「おかあさんといっしょ、おとうさんといっしょ」を開設し、子育てに役立つ地域情報やQ&Aなどを発信している。</p>
<p>○地域との協働による男性の育児参加</p>	<p>2006年8月から、全国でも類をみない父親向け子育て支援講座「ステキなパパになりたい人のための講座」を開催し、講座を自社だけでなく広く地域に解放し、男性の育児参加のリーディング企業となっている。内容は、男性の育児参加の促進をはかるための講座・イベント等で、講座は0-3歳児、4-10歳、10-15歳向けと各世代の成長プロセスに沿って、全国から多様な講師を招き開催。現在も2~3ヶ月に1度の割合で継続的に実施。 <u>開催実績：29回開催 600人受講</u></p> <p>「ステキなパパになりたい人のための講座」の開催風景</p> 
<p>上記の取組に対する積極的なPR、活動等</p>	<p>○社内的には、充実した子育て支援制度の職員への周知と管理者研修を通じての、制度を活用できる雰囲気づくりの徹底 ○NPOと連携しての子育て支援専用のホームページの開設 ○父親向け子育て支援講座「ステキなパパになりたい人のための講座」を全県でオープンで開催することで、男性の育児参加の必要性を積極的にPR ○女性の活躍推進協議会（厚生労働省）主宰の「ポジティブアクションを考えるシンポジウム」にパネリストとして参加、取組を発表</p>
<p>その他、子育て支援に関する特記事項</p>	<p>○長期的な視点からのワークライフバランスの推進のために、女性の職域の拡大と女性管理職の積極的な登用にも継続的に取り組んでいる</p>
<p>他の模範となる成果、受賞歴等</p>	<p>2007年 子育て応援企業長野県知事賞（初回） 2008年 「くるみんマーク」取得 2008年 厚生労働大臣表彰（両立部門） 2008年 長野労働局長表彰（均等部門）</p>

ながの子育て声明

～極点社会を反転！～

我が国の少子化が止まらない！ 人口減少により、将来、地方自治体の約半数「896」が消滅する可能性があるとの報告が出され、全国に衝撃を与えた。

今、我々は、日本存続の大きな岐路に立たされている。人口減少の継続及び加速は、日本の存立にかかわる危機であるとの国民の共通認識を醸成し、国と地方自治体が一丸となって対処する必要がある。

先人が幾多の困難を乗り越え、今日の日本の繁栄を築いたように、我々は、少子化をストップさせるための断固たる覚悟を示し、あらゆる叡智を結集し、スピード感を持って決断し、取組を加速度的に強化させるべきである。

地方の現場に身を置く、我々11名の知事は、極点社会を反転させ、結婚し、子どもを育てることに幸せを感じられる社会を実現するため、結婚支援、移住促進、子育て支援に全力で取り組むことを宣言する。

だから、

結婚しよう！ 好きな人と。
移住しよう！ 好きな地方^{ところ}へ。
子育てしよう！ 大好きだから。

平成26年5月31日

子育て同盟11県知事